

Web 閲覧によるマルウェア感染を根絶する リモート・ブラウザ分離ソリューション「Ericom Shield」のサービス提供開始

～ パートナーであるアイテック阪急阪神のクラウドサービス「Cloud Shield -i」により手軽に利用可能 ～

アイテック阪急阪神株式会社（本社：大阪市福島区、代表取締役社長：浜田 真希男、URL：<https://itec.hankyu-hanshin.co.jp/>、以下：アイテック阪急阪神）が、株式会社アシスト（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大塚 辰男、URL：<https://www.ashisuto.co.jp/>、以下：アシスト）が国内総代理店を務める Ericom 社のリモート・ブラウザ分離ソリューション「[Ericom Shield](#)」を利用し、セキュアなブラウジングを可能にするクラウドサービス「Cloud Shield -i」を9月18日から販売開始します。

本ニュースリリースのポイント

- ・ Web 閲覧によるマルウェア感染からユーザー端末を完全に守るリモート・ブラウザ分離ソリューションの Ericom Shield がクラウドサービスで手軽に利用可能

巧妙化するサイバー攻撃への対策として、クラウドや AI を使い、早期に攻撃や感染を検知して防御・対応するセキュリティ対策ソリューションが大規模な組織を中心に採用されています。一方で、各監督官庁が公表しているセキュリティガイドラインや業務特性に応じて、金融、公共、教育、医療といった業種ごとに、インターネット利用による感染リスクを分離・無害化し、安全に利用できるソリューションの導入も進んでおり、組織の規模を問わずマルウェア感染による被害発生リスクを大きく低減できることが実証されています。

Ericom Shield はこのようなリスクの分離・無害化により、Web 閲覧による端末や内部ネットワークのマルウェア感染を根絶するリモート・ブラウザ分離ソリューションです。ユーザー端末から、別ネットワークのサーバ上の仮想ブラウザに Web コンテンツの実行を分離し、端末のブラウザではレンダリング済みの 100%安全な結果の画面を受け取れます。

今回、アイテック阪急阪神が提供を開始する「Cloud Shield -i」は、この Ericom Shield を利用できるクラウドサービスであり、特徴は以下のとおりです。

- ・ 今までどおりの使い勝手でインターネットブラウジングが可能
- ・ ユーザー辞書、お気に入り、Cookie、音声・動画再生、印刷、コピー&ペースト、ファイルのアップロード、ダウンロードが利用可能
- ・ 端末へのソフトウェアインストールやサーバの準備が不要
- ・ ブラウザ経由でダウンロードするファイルを無害化して安全に取り込み

アシストは、Ericom Shield に関する技術面およびマーケティング面でアイテック阪急阪神を強力に支援していきます。

■ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社アシスト 広報担当:田口

TEL:03-5276-5850

URL:<https://www.ashisuto.co.jp/contact/press/>

■「Ericom Shield」に関するお問い合わせ

株式会社アシスト 仮想化事業推進室 担当:青木

TEL:03-5276-3475

URL:<https://www.ashisuto.co.jp/ericom/>

■「Cloud Shield -i」に関するお問い合わせ

アイテック阪急阪神株式会社

ソリューション事業統括本部 西日本営業本部 西日本営業部 営業1課

Cloud Shield -i 担当

TEL:06-6344-0381

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ ニュースリリースに記載された製品／サービスの内容、価格、仕様、お問い合わせなどは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。